

令和5年度 ふるさと夢未来講演会

「みんなで創る大田の未来 ～好きなコトを仕事にする～」 講師：伊東将志様

中学生の皆さんの感想（一部抜粋）

《中学1年生》

・伊東さんのおっしゃっていた「何者かになる」ために他の人と違う道に進んで物事を別の角度から見るとするのは、私にはない発想だったので少し驚いたというか困惑しました。でもお話を聞いていくにつれて、驚きよりも自分の将来への希望みたいなもののほうが大きくなっていて、この町を自分でより素敵な町にできたらおもしろいんじゃないかなと思いました。まだきっと私は、この町の素晴らしさを知りきれてはいないし全てを知ることが不可能かもしれないけれど、この町で生きていくという選択も捨てたものじゃないなと思えました。私には伊東さんのように逆転の発想で町を盛り上げることはできないかもしれないけど私なりの考え方でたくさんの人を巻き込んで楽しく問題点や課題点を解決できたらいいなと思います。「まるで映画のような人生を。」を大切にしたいと思いました。

どん底の自分も受け入れられるような私の物語を作っていきたいです。伊東さんのお話が大きな学びになりました。私の映画に、このシーンを入れたいなと思える有意義な時間でした。

・どんなに辛いことがこれから先にあるか分からないけど、どんなに辛いことがあっても一回受け止めて、その辛さと向き合うことが大切だと思いました。これから先は、多くのバッドニュースがあっても、他のグッドニュースを見つけたり、バッドニュースをグッドニュースにしたりして乗り越えていけばいいと教えていたので、そういう力を養っていきたいです。

伊東さんがお話ししてくれたことを大切にしていき、自分の人生の映画が完成していくのを楽しみにしています。今日は、僕たちのためにお話をさせていただきありがとうございました。

・私は、伊東将志さんの講演「みんなで創る大田の未来～好きなコトを仕事にする～」を聞いて心に残ったことが2つあります。

1つ目は、伊東さんの人生の歩み方についてです。家庭や仕事での困難な出来事など沢山悩まれたと思います。それでも地元に残り町の人が喜んでくれるようなプロジェクトを考える。私は、その歩み方にとても感動しました。

2つ目は、伊東さんが言われた言葉についてです。「人生は驚きの連続です。」「まるで映画のような人生を。」など一つ一つに思いがこもっており、とても素晴らしいと思いました。

私は、将来地元に残ってひとのためになる仕事をしたいと思っています。伊東さんの講演を聞き自分の将来について改めて考えることができてよかったです。

《中学2年生》

・今日のお話は、伊東さんが自分の人生は自分で作るのだ!と教えてくださって、とてもいい話だなと思いました。「まるで映画のような人生を!」という言葉聞いて、私はもっとチャレンジしてみないといけないなと感じました。失敗しても成功しても、いい映画のストーリーになると考えました。なので、私もこれからいろんなことにチャレンジして、少しずつ映画を作りあげられたらいいなと思います。

私は自分の中でみんなを笑顔にできる人になる!という目標を立てています。伊東さんが「悪いことをいいことに変えちゃおう」とおっしゃったとき、私もそうすれば、笑顔をもっと増やせるのではないかなと思いました。

最近グッドニュースが思いつかないくらいバッドニュースばかりだけど、みんなで話し合っているいいニュースが書けてよかったです。

・講演を聞いて、自分の町を好きになることはとても大切なのだなと思いました。自分の町は超がつくほど田舎だけど、逆を言えば、人もいないから自由の幅が広がるという利点を見つける良い機会だったと感じました。

私は伊東さんの話のなかで「まるで映画のような人生を。」と「チャンスは何度も訪れる。」という言葉が心に残りました。人生は自分が主人公だから、人生の選択は自分が決めるものなのだと感じたし、失敗してもまた同じような展開が来るはずだから、その時を待てばいいのだと思いが楽になりました。

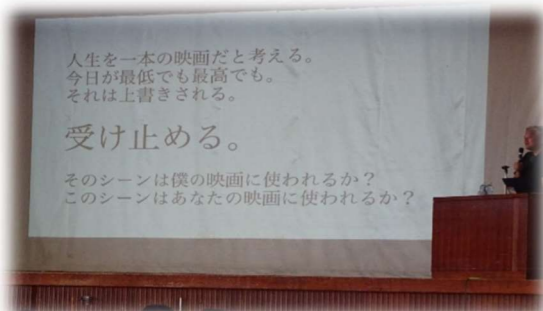
ワークショップでグッドニュースとして「みんながグッドニュースを書いている」と書いているひとがいたのですが、グッドニュースを持っていることはあたりまえじゃないと気づき、みんな良い人生を送っているなと思いました。

・私は将来の夢があります。でもそれを大田市でやろうとは思っていません。大田市には、悪いところもありますが、良いところがたくさんあると思います。さらに、私は今回の講演会でもっともっと大田市を好きになることができました。小学生のころに大田市の良いところについて考える機会があり、全然思い浮かばなかったけれど今回たくさんの人と考えることができ、たくさん共感できてやっぱり大田市はいいなと思いました。

伊東さんが言われた「まるで映画のような人生を。」という言葉思い出しながら辛いこともあきらめず最後まで頑張りたいと思いました。映画のよう最終的にはうまくいく人生であるかは分からないけれど、そうなるために日頃から提出物など小さいことからコツコツ積み重ねていき、小児科医になるという将来の夢を実現できるように頑張りたいです。大田市には大田市民以外の人にはわからないような良いところはたくさんあり、そんな大田市を守っていくのが私たちの役目だと思います。大田市の良いところを全国に広めるという目標が今回の講演会を通してできたと思います。

・伊東さんのお話を聞き、まず心に残ったことは「人生は驚きの連続。」「まるで映画のような人生を。」「チャンスは何度でも訪れる。」「人生を一本の映画に例える。」という言葉です。これから成長するにあたってさまざまなことを乗り越えないといけません。伊東さんがおっしゃった通り、人生は驚きの連続で、たくさんの人に出会ったり、初めてのことがたくさん起きたりするので、いろんなことに挑戦したいです。

次に、夢や将来についてですが、私は、人を助ける職業に就きたくて、今は救急救命士にあこがれています。これから生きていく上で、人のためになることをしたり、自分の好きなコトをして、映画のような人生を送れるように頑張りたいです。チャンスは何度でも訪れると思うので、そのチャンスを活かしていきたいです。



《中学3年生》

・今日の講演を聞いてたくさん共感して事がありました。夢未来講演会に参加するといつもなるほどなあと思う事があるけど、今回は特に共感することがありました。僕は、弁論大会という自分の気持ちを話す場で地域について語りました。それをふまえて聞いていると、「町の人たちが、この町いいでしょと言える町が良い町。」という言葉聞いて、その考えは自分には無かったと思いました。この話を参考にして今年の弁論大会に備えたいと思いました。

そして大田三中は少しだけニュースメーカーのような事をしています。なので、大田三中はもっとニュースメーカーになっていければいいと思います。

最後に僕は、大人になってもまだこの地域にいたいと考えています。伊東さんの話を聞いて、自分の将来に向けて活かせていきつつ、地域の事にも活かせるらしいなと思います。まずは大田のグッドニュースをたくさん見つけたいです。

・今回伊東さんのお話を聞いて心に残ったことは、人生を一本の映画にすることです。これまで15年間生きてきて、辛いことや楽しかったことなどたくさんあって、辛いことはすぐ忘れようとしていました。ただ、その辛かったということも時には忘れてはいけないのかなと思いました。

これから進路について考えていかなければいけない時期になってきて、「好きなコトを仕事にする。」ということは、これから考えていくうえでとてもよかったです。これから自分の長所や好きなことを活かせる職業につきたいなと思いました。

これから、テストで悩まされたり、進路のことだったり、大変だと思いますが、人生の映画を作るために頑張っていきたいです。

・「まるで映画のような人生を。」という言葉がとても印象に残りました。自分一人で作る映画だからどのような映画にしたいか、最大のピンチやチャンスの際にこのシーンは使われるのか、など色々考えて自分の映画を作っていきたいです。伊東さんが言われていた「チャンスは何度も訪れる。」「バッドニュースをグッドニュースへ!」のように、人生のなかでどん底に落とされても、そこで立ち止まらずに前を向いて何回も何回もチャレンジしていきたいと思いました。

私は将来地元の仁万でお店を建てたいと考えています。お店を建て町を救いたい、もっとにぎやかな町にしたいです。そのためにはどうにかして観光客を増やさないといけないのではと考えていたけれど、それは間違っていることに気づかされました。観光客を増やすことだけでは町は救われないし、町のひとが自分の町を好きになってくれるのが大事だとわかりました。なので、自分のことばかりを考えずに町の人や周りの人のこともしっかり考えて行動できる大人になっていきたいです。グッドニュースは大きなことだけではなく、小さなことでもいいから少しずつ目標達成に向けて頑張っていきたいです。

高校生の皆さんの感想(一部抜粋)

《高校1年生》

・今日の伊東さんのお話を聞いて、心に残ったことが沢山ありました。一つ目は、「まるで映画のような人生を。」という言葉です。この言葉を聞いたときに、自分の人生の中に映画に使えるようなシーンがあったらどうかと振り返ってみました。振り返ったときに、良くも悪くも意外と濃い人生を送っているなと思いました。なので、これからは濃い人生を送れるように様々な経験をして、様々な人と積極的に関わっていきたいと思いました。二つ目は、「一喜一憂する人生は素晴らしい。」という言葉です。人は嬉しいことはすごく喜んだりするけど、悲しいことや辛いことがあったときは悲しんで終わりということが多くと思います。でも、これからはそれを含めて、人生で辛いことがあるから幸せを感じられるかもしれないと思いながら生きていきたいなと思いました。三つ目は、伊東さんのお話をされるときの雰囲気です。お話される時に本当に楽しそうで、今まで行って来たことを自信をもって話しておられてすごいなと思いました。私も、そんなふうに自分の行くことや人生に自信をもって生きていきたいです。今日の講演を通して思ったことや感じたことは、忘れずに自分の人生に活かしていきたいです。

・今日、伊東さんのお話を聞いて、自分から何かアイデアを作るのではなく、普段の何かしらの気づきから、大田市やふるさとのために何が出来るのか。観光客を沢山増やすのではなく自分たちの想いや、やり方を変えていこうと思いました。また最近、色々上手くいかず、つまづいていたけど、伊東さんのお話のなかで「まるで映画のような人生を。」という前向きな言葉がとても印象に残りました。また、その言葉や伊東さんの思いなどを知って、私が地域に役立てようと思ったら率先して活動していけるようになりたいと思いました。それと、「今日が最低でも最高でも上書きしてくれる。」という言葉聞いて、一回失敗したとしてもまた次のチャンスがあると思って、勇気を振り絞って何にでもチャレンジしていきたいと思いました。私は看護師になることを目指すうえで、辛いことが沢山あると思うけど今日の講演を思い出して、少しでも前向きに頑張っていきたいです。

・今日の伊東さんのお話を聞いて、自分も真似をしないとイケないなと思うことが沢山ありました。自分の町や地域を活性化させるために観光客を増やすことだけじゃなく重視するのではなく、今住んでいる方々に地元を好きになってもらうことも重要なのだなと思いました。バッドニュースだけではなく、グッドニュースも比例してあるということも忘れずに生活していきたいです。これからの人生なにがあるかわからないし、どんなことに苦勞し、どんなことに喜びを感じるのかを、これからは考え方や感覚が異なってくると思うので、一瞬一瞬を大切にしていきたいです。伊東さんがおっしゃったように自分の人生を映画に例え、誰を登場させて誰と物語を進めていくのかは自分次第なので、これからはとても楽しみになりました。最高の瞬間、最低の瞬間それぞれを自分の映画に刻んで、最終的にこんな人生でよかったなと思えればいいかなと思いました。自分の人生は、自分が主人公だと思って、さらに楽しく最高の日々をおくれたらいいなこの講演会を通して感じる事ができました。



《高校2年生》

・町を盛り上げること。石見銀山でも言えることだと思いますが、観光客が増えるだけでは町が救われぬという話を聞いて、確かにそうだなと思いました。将来のことはまだ決まっていないう、何がしたいのかや、夢も無いです。今までは自分さえ楽しめる仕事があればそこに就職したいと考えていました。しかし今は自分が知らないどこかの人の役に立ち喜んでもらえるような仕事をするのもいいかなと思います。伊東さんのお話を聞いて、多くの人達がうれしいと思ってもらえるアイデアや気づきが大切であり、大田市に限らず自分が住んでいる町の良さを知ることも町を活性化させるために必要な要素であると私自身感じる事ができました。どんな仕事をするにしても、行動力と考える力、思いやる気持ちが大切だと言う事を改めて気づくことができました。

・今日の講演会では、自分の生まれ育った町や地域について改めて沢山考える事ができました。個人的に心に残ったことは、伊東さんのお話にあったように「自分の人生を一本の映画と考える。」「これからの人生が最低でも最高でも上書きされていく。」とおっしゃっていたことです。これからある嫌なこと、辛いこと、楽しいこと、嬉しいことを一本の映画にしてみると人生はこんなにも楽しい物だったんだと後々思い出すことができるなど感心したとともに共感しました。「まるで映画のような人生を。」という言葉も伝えてくださいました。伊東さんから伝えていただいたアイデアや気づきをこれからの人生に何か活かしていければ良いなと思いました。ワークショップにて、色々な年齢・学年のひと話し合いする事ができ、普段よりも新鮮な意見を聞くことができました。とても貴重な経験になり、この講演会から自分が将来やりたい事やしたい事が浮かんできた気がします。これからも自分の進路について前向きに向き合っていきたいと思いました。

今日の講演会は、どんな話なのかとても気になっていました。進路 week から一週間たったけれど「高校卒業まで、あと一年ある」と思っているし、何をすればいいのか、何をしたいのかが、将来が近づくとともに分からなくなってきています。そんな中でこの講演を聞き、伊東さんの名言がたくさんあり、自分の心にとっても響きました。響いた言葉が二つあります。一つ目は、「観光客が増えても町は救われぬ。自分の町を好きになることが大切」です。一年生の時に、どうすれば観光客が増えるのかを調べる授業がありました。その答えが今日分かった気がします。二つ目は「今日よりひどい日はある。今日よりハッピーな日はある。」です。ひどいと思う日はいつか終わる。ハッピーな日もいつまでもは続かないと言われたことが心に残りました。

今日、伊東さんの話を聞いてどれもすごい話をしているようで、よく考えてみれば当たり前だと思う事ばかりで自分たちはいつも難しく考えすぎなのかなと思いました。難しく考えすぎて当たり前なのに気づけなくなってしまっているんだなと感じました。「あなたの人生はあなたがつくる。」という言葉で特に感じました。今、先生に将来どうしたいかと聞かれても多分答えられないと思うので、3年になるまでに自信をもって答えられるようになりたいです。



《高校3年生》

・伊東さんからとても参考になるお話を聞き、これからの大田市の町づくりについて改めて考え直す機会になったとても感じました。どんなに悪いニュースが続いても、それを良いニュースに捉えたり、前向きに考えることで最高の日になるし、最高のものへと変わっていくんだなと思いました。伊東さんのように何事もプラスに考えることがまず大事だと知り、これからたくさん進路ことや自分のことなどで悩む時期があると思うので、どんなに悪いこと、上手くいかないことが続いても明るくプラスに考えられるようになりたいと思います。今日伊東さんが言うておられた「まるで映画のような人生を」という言葉を聞いて、自分の人生は自分で考えていいんだと改めて感じました。自分のことだからこそ自分で決めていいと思うし、周りからの評価や視線なんて気にしないでいいと思いました。今日の講演を聞いて、自分の人生や町づくりのために大切なことをたくさん学べ、これからの課題研究や進路決定につなげていきたいなと思いました。

・今日講演して下さった伊東さんのお話を聞いて、きっとこの先も生きていく上で、今現在の自分の人生最大の悪いことも良かったこともこれからどんどん上書きされていくんだろうと思いました。毎年のように自ら命を絶つ人たちは絶えません。命を絶つ理由は人それぞれで、自ら命を絶つ恐怖よりもこれからも生き続けることのほうがずっと怖いなと思います。でも死にたいと思いつながり生きていくなかでも、生きていけば必ずいつか何かしらの出来事や出逢いで変わる気がします。私はまだ17年しか生きていないけど17年間のなかでも沢山の出来事があったのに、あと70年80年生きていくなかで何度も何度も人生最大の喜びも辛い経験も上書きされていくんだろうなと思いました。人生の主人公は自分でチャンスをどんな形にしていけるのかも全て自分で決められるのなら一度きりの人生なので、したいことに迷わず突っ込めるような人生のほうがきっと素敵な人生になるだろうなと思いました。今日の講演会で、中学のころ大好きだった先生を会えて話しをすることができ、また中高合同のワークショップをすることで全く接点の無かった後輩の子たちとも話すことができ、本当に素敵な2時間でした！

・今日は自分の進路について改めて考える事ができました。私も地元がとても好きで、卒業後は地元に残りたいと思っているので、今日伊東さんのお話を聞いて地元に残ってただ普通の仕事をするだけが自分の人生じゃないんだなと思いました。大田市は自然も豊かで、地域のかたもすごく優しくいい所が沢山あるので、もっともっと注目されてほしいなと思っています。そのためにも、私も伊東さんのように地元のために何かを出来るようになってみたいと思います。ただ平凡に毎日学校に来て勉強しているけど、これからは伊東さんに言われたように映画のような人生づくりをしてみたいなと思いました。大田市も高齢化が進み、他にも悪く捉えられるところは沢山あるけれど、それも良い所に変えて楽しめることのできる伊東さんが本当にすごいなと思いました。地元が好きだと思ってくれる人が、私だけではなく地元のみなが好きだと思ってくれたらいいなと思います。何回もあるチャンスを自分で上手く使ってこれからの人生を楽しくて良いものにしていけたらいいなと思いました。

・今日はとても貴重な時間で、沢山の心に残る話を聞く事ができました。僕は将来どんな姿か、どんな職業に就いているか、まったく想像ができていませんが、進学をして調理師になりたいと思っています。地元からは少し離れますが、いつか地元に戻って働きたいと思っています。自分の人生を映画だと思、これからの人生において誰とどのように関わるか、これからの人生の台本をしっかりと自分で作っていかうと思いました。地元を盛り上げたり、活性化させたりするには、観光客を呼ぶことも大事だけど、自分が住みやすいと感じる街づくりをすることが大切なのではないかと思いました。ワークショップでは、色々なアイデアを交換でき、とても良い機会になりました。

伊東様ありがとうございました！また大田市にお越しください